【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成20年6月26日(2008.6.26)

【公開番号】特開2006-293015(P2006-293015A)
【公開日】平成18年10月26日(2006.10.26)
【年通号数】公開・登録公報2006-042
【出願番号】特願2005-113556(P2005-113556)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/00　(2006.01)
Ｂ２９Ｃ　35/02　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　13/00　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/02　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/08　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/20　(2006.01)
Ｂ２９Ｋ　21/00　(2006.01)
Ｂ２９Ｋ　105/16　(2006.01)
Ｂ２９Ｋ　105/20　(2006.01)
Ｂ２９Ｋ　105/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/00　５５０
Ｂ２９Ｃ　35/02
Ｆ１６Ｃ　13/00　Ｂ
Ｆ１６Ｃ　13/00　Ｅ
Ｇ０３Ｇ　15/02　１０１
Ｇ０３Ｇ　15/08　５０１Ｄ
Ｇ０３Ｇ　15/20　５１５
Ｂ２９Ｋ　21:00
Ｂ２９Ｋ　105:16
Ｂ２９Ｋ　105:20
Ｂ２９Ｋ　105:24

【手続補正書】
【提出日】平成20年5月8日(2008.5.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１１】
＜実施例１２＞
液状シリコーンゴム材料（分子量　Ｍｗ＝１０万）　５０質量％
液状シリコーンゴム材料（分子量　Ｍｗ＝５０万）　３４質量％
カーボンブラック（電気化学工業製デンカブラック粉状）　６質量％
カーボンブラック（三菱化学製、商品名：ＭＡ－１１）　５質量％
シリカ（日本アエロジル製、商品名：AEROSIL５０）　５質量％
上記の配合物をプラネタリーミキサーを用いて３０分間混合脱泡し、降伏応力<u>１１０</u>〔Ｐａ〕、ＴＩ値<u>４．９</u>のシリコーンゴムベース材料を得た。
実施例１と同様にして混合物Ａと混合物Ｂとし１：１の比率で混合した。
この材料を用いて、実施例１と同様にしてφ１２ｍｍの弾性ロールを成形した。

さらに、実施例１と同様にして表面層を形成して現像ロールとし、画像形成装置に組み込み画像評価をおこなった。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１５】
＜比較例２＞
液状シリコーンゴム材料（分子量　Ｍｗ＝５０万）　６０質量％
カーボンブラック（ケッチェンブラックＥＣ）　２０質量％
シリカ　（日本アエロジル製ＡＥＲＯＳＩＬ３８０）　２０質量％
上記の配合物をプラネタリーミキサーを用いて３０分間混合脱泡し、降伏応力７００〔Ｐａ〕、ＴＩ値７．２１のシリコーンゴムベース材料を得た。
実施例１と同様にして混合物Ａと混合物Ｂとした。
この材料を用いて、実施例５と同様にしてφ１６ｍｍの弾性ロールを成形した。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１１９】
【表１】

	降伏値〔Pa〕	ＴＩ値	塗工肉厚〔mm〕	寸法評価	濃度評価
実施例1	５０	２．０１	2	B	B
実施例2	２１０	４．８２	3	A	A
実施例3	６００	６．５	6	B	－
実施例4	１４０	２．８	2	A	A
実施例5	３５０	２．５	4	A	A
実施例6	５０	２．０１	０．５	B	B
実施例7	４００	２．１	3	B	B
実施例8	４００	２．５	3	A	A
実施例9	４００	５	3	A	A
実施例１０	４００	６．５	3	B	B
実施例１１	５５	６．４	2	B	B
実施例１２	１１０	４．９	2	A	A
実施例１３	６００	６．５	6	B	－
実施例１４	５０	２．０１	2	B	－
比較例1	１５	１．８８	2	C	C
比較例2	７００	７．２１	4	D	－
比較例3	３０	２．２	2	C	C
比較例4	５００	６．９	4	D	－